

人口とお金で社会を可視化した本を読んでみよう



経済学部  
准教授 櫻本 健  
Sakuramoto Takeshi

- 『ローマ人の物語』 塩野七生著(新潮社 1992-2006年)
- 『人口で語る世界史』 ポール・モーランド著、渡会圭子訳(文藝春秋 2019年)
- 『世界経済史概観：紀元1年-2030年』 アンガス・マディソン著(岩波書店 2015年)
- 『昭和16年夏の敗戦-新版』 猪瀬直樹著(中央公論新社 2020年)
- 『経済学者の栄光と敗北：ケインズからクルーグマンまで14人の物語』 東谷暁著(朝日新聞出版 2013年)
- 『生産性とは何か：日本経済の活力を問いなおす』 宮川努著(筑摩書房 2018年)
- 『無形資産が経済を支配する：資本のない資本主義の正体』 ジョナサン・ハスケル、ステファン・ウェストレイク著、山形浩生訳(東洋経済新報社 2020年)
- 『資本の測定：日本経済の資本深化と生産性』 野村浩二著(慶應義塾大学出版会 2004年)
- 『グローバル・バリューチェーン：新・南北問題へのまなざし』 猪俣哲史著(日本経済新聞出版社 2019年)
- 『GDP：「小さくて大きな数字」の歴史』 ダイアン・コイル著、高橋璃子訳(みすず書房 2015年)

分厚くて読み応えがある本も含めて学部学生が読める本を選んだ。者たちの人生をわかりやすく学んだつもりにさせてくれる貴重な本統計の歴史は統計学の歴史よりもずっと長い。社会を数値化・可視化して政策をとるようになった歴史で重要なのはローマの帝国時代からで[1]は歴史と社会制度ができた時代を小説で学べる。人口から国と歴史をまとめた本が[2]と[3]だ。結局その国の世界での存在感を決めるのは人口と豊かさだということが分かる。本学の宮川実経済学部教授を含め、研究者を集めた陸軍秋丸機関は太平洋戦争敗戦を事前に予測し、東条首相を説得しようとして失敗し、当事者たちが迫害された歴史がある。[4]はデータを軽視することで社会がどうなるのか学ぶ上で役立つ本だ。[5]は有名な経済学

者たちの人生をわかりやすく学んだつもりにさせてくれる貴重な本だ。[6-10]は異なる角度でお金という点でまとめた研究書であり、普通の人でも読める本である。それぞれ当時の最新研究から経済を分析、説明した本である。[6-8]は特に我々の社会で資本化が進み、それを通じて豊かになったことを理解させる良本である。特に[8]の概要は世界中で読まれ、国連を通じてGDPや生産の定義を拡張させることにつながった。[9-10]は一般人も読めるテキストであるが、一般の人にも多く売れた本ばかりである。多くの人に知識の豊かさを学んでいただきたい。

Information

—『竹取物語絵巻』を図書館(池袋キャンパス)に展示しました—

2023年度春学期より、図書館展示を本格的に再開いたしました。2023年度初回の展示では、本学貴重書庫に保管している『竹取物語絵巻』の実物を、定期的に絵巻上・中・下3巻の場面を替えて紹介いたしました。今後も、両館に立教大学の所蔵する特色ある貴重書やコレクションを展示していく予定です。是非ご来館ください。

また、立教大学図書館Webサイトリニューアル(2023年3月実施)により、デジタルライブラリーの表示が精細になり、パソコンやスマートフォンでも流麗な文字と色彩豊かな図絵を鮮明に閲覧できるようになりましたので、是非ご覧ください。



QRコード(図書館HP/デジタルライブラリーリンク)  
<https://library.rikkyo.ac.jp/digitallibrary/>  
例：『竹取物語絵巻』、樋口一葉 『詠草』自筆稿本、ルソー主要作品 等



Your Library 第56号(通号115) 発行日 2023年9月20日

編集 ライトナー カトリン J.(図書館副館長) <https://library.rikkyo.ac.jp/>  
 発行人 森 聡美(図書館長) 連絡先 TEL 03-3985-2628  
 発行 立教大学図書館 印刷 立教プリンティングステーション



Rikkyo Library

No.56

2023.9.20

ISSN 1883-1303

# Your Library

立教大学図書館だより

特集

## 謎に満ちた「保存書庫」

読書ナビ

櫻本 健 准教授

Sakuramoto Takeshi

経済学部

新座保存書庫とベルタワー

# 謎に満ちた「保存書庫」



みなさんは、OPACで資料を検索した際に、配架場所に「池袋図〇〇」「新座図〇〇」のほかに「保存書庫〇〇」とあるのを見たことはありませんか？  
保存書庫とは一体何でしょう。一体、どこにあるのでしょうか…。  
今回は、この謎に満ちた「保存書庫」の一部をご覧くださいませよう！



## ① どこにあるの？

新座キャンパス案内図にじっくり目をこらしていただきますと…7号館とチャペルの裏手に「保存書庫」があります。総延面積2,546㎡、地下1階・地上2階の三層構造の建物です。ここに約50万冊の蔵書が「保存」されています。収容能力は「ぎゅうぎゅうに詰めると」56万冊<sup>(※)</sup>。…実際には53万冊がギリギリでしょうか？これは新座図書館の約2倍に相当します。  
※参考：収容能力 池袋図書館192万冊、新座図書館29万冊  
※※ひっそりこちらで紹介中▶図書館Webサイト▶図書館の紹介▶新座保存書庫 <https://library.rikkyo.ac.jp/institution/>

## ② いつからここに？

設立は1982年。新座キャンパス学部・研究科開設(観光学部・コミュニティ福祉学部：1998)よりも早く、新座の地に設置された「はじめての大学施設」です。1970年代のおわり頃から、当時の池袋図書館(1960設立。現在の池袋図書館[2012～]が建設される前のお話です)の狭隘化(=「満杯状況」。一時は蔵書の一部を通路に「平置き」…)問題があり、溢れた資料の避難場所として建てられたのが保存書庫です。  
本邦初<sup>(※)</sup>の「保存書庫」であること、設計者が鬼頭梓<sup>(※※)</sup>であることもちょっとした「自慢」です。  
※本学発行雑誌「立教」101号(1982.4)のグラビアには「わが国初の保存書庫が落成」の記事が。本文記事とあわせてご覧ください。  
※※建築家・鬼頭梓(きとうあずさ 1926-2008)は東京経済大学図書館(1968)、日野市立中央図書館(1973)、洲本市立洲本図書館(1998)など、全国各地に30を超える図書館を手がけた第一人者。外壁レンガは日本では珍しい「フランス積み」で積まれています。これは池袋のメーザーライブラリー記念館(かつて「池袋図書館旧館」と呼ばれていました。設立:1918)と同じ積み方なのです。こんなところにも鬼頭梓の「こだわり」が感じられますね。

## ③ 一体何を「保存」しているの？

設立当初は、図書館創設当時から1955年以前の収書分の図書、1970年以前の雑誌(利用頻度の高いものを除く)を池袋から移送しました。また、本学で収蔵していた文庫(後述)・コレクション類、本学と特に関係の深い聖公会資料などを収蔵しました。その後、現在の池袋図書館の建設(2012)で、池袋キャンパスに戻った資料もあります。貴重書については、現在はその大半が池袋図書館地下2階の貴重書庫内に保管されています。2023年度現在、保存書庫の所蔵物と配架状況は[表]のとおりです。中でも「個人文庫」<sup>(※)</sup>については、現在、全て保存書庫に所蔵しており、特色のひとつになっています。そのほか、池袋図書館にもない珍しいコレクションもあります。シートを差し込んで回転させると図柄が動いて見える「元祖アニメ」<sup>(?)</sup>や「ファン垂涎」<sup>(?)</sup>の洋楽LPレコードコレクション<sup>(※※)</sup>も。

個人文庫について詳しくはこちら▶図書館Webサイト▶特別収集資料・展示▶個人文庫 <https://library.rikkyo.ac.jp/archives/collection/individual/>  
※個人文庫とは：研究者が研究目的のために収集した蔵書を図書館が寄贈あるいは購入により受け入れて、個人名などを冠して蔵書の一部としたもの(「図書館情報学用語辞典」第5版 丸善出版2020)  
※※正式には「砂田重民氏LPレコードコレクション」。砂田重民(すなだげたみ 1917-1990 本学経済学部卒業)の蒐集した総数5,411点のLPレコード。コレクションの一部は、学内者に限り、池袋図書館B1F(CD-ROMコーナー)で鑑賞できます。  
▶砂田重民氏 LPレコードコレクションはコチラ▶図書館Webサイト▶デジタル・ライブラリー <https://library.rikkyo.ac.jp/digitalibrary/sunadacollection/>



登録番号「1」の図書  
[Dictionary of philosophy and psychology]



ウィリアムズ主教旧蔵書  
[The Bible and men of learning]



ウィリアムズ主教旧蔵書「玉あられ」

	配架しているもの(概要)	文庫・資料名(抜粋)	内 容
2階	個人文庫、聖公会関係資料、製本新聞(洋)、貴重書、準貴重書	大久保利謙文庫 宮沢俊義文庫	幕末～明治維新、日本近代史など 戦後の日本国憲法成立関連資料
1階	洋書、製本新聞(和・洋・中)、マイクロ資料 砂田コレクション(LPレコード)	海老澤有道文庫 辻荘一文庫	日本キリスト教、キリシタン史、賛美歌 ※デジタル化あり キリスト教音楽、キリスト教美術
地下1階	和雑誌、洋雑誌、大型本、和書 洋書の一部(小型本など)	聖公会関係資料 地方文書(じかたんじょ)	立教の特別コレクション。「The Spirit of Missions」「基督教週報」など 日本史研究室が収集。江戸～明治期にかけての史料



シートは12枚(両面)  
「元祖アニメ」(?)  
高に入れ回転させて小窓から見ると…  
[Les images vivantes: petits tableaux animés]  
(訳:「生きている絵本」)

## ④ ズームアップ「宮沢文庫」

③で紹介した個人文庫のうち、「宮沢文庫」にズームアップ！  
宮沢俊義(みやざわとしよし 1899-1976 元本学法学部教授、初代法学部長)の没後、その蔵書や資料が本学に寄贈されました。約9,000冊の旧蔵書および日本国憲法起草に関する原稿・草案・メモ・ノートなどの各種資料で構成されており、憲法制定70年にあたる2016年度はNHK、朝日新聞など複数メディアから取材を受けました。貴重な資料のため閲覧利用は一部制限されています。



宮沢文庫 書架  
宮沢文庫 整理済資料  
宮沢文庫 未整理ファイル  
宮沢文庫 NHK撮影資料  
宮沢文庫抜刷等諸資料のうちF4「憲法問題調査委員会議事録」

## ⑤ 「保存書庫の役割」とは？

数々の魅力にあふれる保存書庫ですが、池袋・新座図書館とは異なり、資料の「保存機能」に特化した図書館(書庫)なのです。保存書庫は池袋図書館や新座図書館のように直接来館し利用することができません。資料は各図書館へ「取寄せ」することで貸出・閲覧・文献複写などの各種サービスを受けられます。「学習・教育・研究支援」「学術情報の提供」「資料の収集」などの他にも図書館には「保存」という重要な役割もあるのです。資料のデジタル化が進行し、利便性が向上する昨今ではありますが、一方では「現物」保存の意義も高まっています。一例として、かつて日本英文学会機関誌「英文学研究」復刻版の刊行が企画された際に、国立国会図書館をはじめ主要大学図書館にも完全な揃いがなく、本学所蔵のものを提供し大いに面目を施したとのエピソードが残っています[雑誌「立教」96号 1981.2「新座保存書庫の建設をめぐる」(鶴川馨)]。  
※鶴川馨(うがわかおる 1931-2019 元本学経済学部教授・保存書庫設立当時の図書館長)  
また、各種資料の保存に利用されているマイクロフィルムには、保存スペースの省力化などのメリットがある一方、利用頻度によっては経年劣化が進行するとデメリットもあります。劣化の初期には「酢酸臭」と呼ばれる独特のすっぱい臭いを放ってきます。さらに劣化が進むと、フィルムの蛇行が始まり、ついには「崩壊」してしまいます。こうなると、たとえどんなに貴重な資料であっても、もう閲覧することはできません。ほかにも、実物のもつ一種の「迫力」もデジタル資料では味わえないものがあります。こちらは製本保存している“The Times”ですが、ご覧くださいこの大きさ! 重量だって「それなり」で、書架から取り出すための工夫として製本時に「取っ手」も取り付けられています。



書架



「The Times」背に取っ手が付いています



コミックサイズの本と比べるとこんなに大きさが違います

## ⑥ スタッフのオシゴトとは？

⑤で「直接の来館利用には対応していない」と書きましたが、資料だけが置いてある無人の館かというそうではなく、現在4名のスタッフが常駐しています。業務としては①「蔵書管理・点検」(配送、移管、データ修正、除籍、製本)②「利用サービス」(学内他館からの取寄せ対応、文献複写)③「資料の補修・環境保全」(カビ取り・燻蒸、本のページ補修・修理製本、マイクロ資料酢酸化対応、施設管理)④「学外研究機関等からの来館者・取材対応」などのように多岐にわたり、本学図書館の重要な使命の一部を担っています。



修復作業を行っています



破損部分を和紙で修復中

## ⑦ さらに詳しく知りたい方は・・・

本稿作成にあたっては「立教大学図書館新座保存書庫:文献案内／小関昌男編 2001.5」掲載の書誌情報と解説、各種雑誌記事を参考にしました。池袋・新座それぞれの図書館で所蔵していますので、是非お手にとってみてくださいね。当時の「生みの苦しみ」や図書館員の奮闘、歴史の一端がうかがえます。